

平成 26 年 3 月 4 日  
内 閣 府  
原 子 力 政 策 担 当 室

## 第 15 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA） コーディネーター会合の開催について（案）

平成 26 年 3 月 11 日（火）～3 月 12 日（水）、三田共用会議所（東京都港区）にて、第 15 回アジア原子力協力フォーラム（FNCA<sup>※1</sup>）コーディネーター会合を開催いたします。今次会合では、プロジェクトの活動報告、評価及び今後の計画について議論をする予定です。

※1 我が国が主導するアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるための協力フォーラムであり、コーディネーター会合は、自国におけるプロジェクトの実施に責任を持ち、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を担う各国コーディネーターにより、年一回プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画の討議を行うものです。（ウェブサイト：<http://www.fnca.mext.go.jp/>）

1. 主 催 内閣府、原子力委員会  
共 催 文部科学省

2. 開催日 平成 26 年 3 月 11 日（火）～3 月 12 日（水）

3. 開催場所 三田共用会議所 国際会議室（3 階）

4. 参加予定国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本<sup>※2</sup>、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム

※2 日本からは、近藤駿介原子力委員会委員長及び原子力委員会各委員、町末男 FNCA 日本コーディネーター、国内各プロジェクトリーダー、関係省庁等が出席予定。

以上

## 第15回アジア原子力協力フォーラム（FNCA） コーディネーター会合プログラム

日 付：平成26年3月11日（火）－12日（水）  
場 所：三田共用会議所  
主 催：内閣府、原子力委員会  
共 催：文部科学省

平成26年3月11日（火）

### プレスオープン部分（9：45～10：20）

セッション1：開会（9:45～10:20）

- ・開会挨拶（近藤 駿介 原子力委員会委員長）
- ・参加者紹介
- ・アジェンダの確認
- ・集合写真

セッション2：2013年度のFNCA会合報告（10:20～10:50）

- ・報告（第14回FNCA大臣級会合、第5回パネル会合）

セッション3：放射線利用開発（11:10～12:20、13:40～14:50）

- ・プロジェクトの成果報告、今後の活動に関する意見交換

セッション4：研究炉利用開発（15:10～16:00）

- ・プロジェクトの成果報告、今後の活動に関する意見交換

セッション5：原子力安全強化・原子力基盤強化（16:00～17:30）

- ・プロジェクトの成果報告、今後の活動に関する意見交換

平成26年3月12日（水）

セッション6：IAEA/RCAの活動とFNCAとの協力（10:00～10:30）

- ・IAEA/RCA代表者リードスピーチ及び討議

セッション7：第14回大臣級会合のフォローアップ項目に関する討議  
（10:50～12:00、13:15～14:00）

セッション8：FNCAの今後の活動について（14:00～16:00）

- ・2013年成果評価と2014年活動計画
- ・各国コーディネーターから各プロジェクトについて講評
- ・討議

セッション9：閉会（16:40～17:30）

## 第 15 回 FNCA コーディネーター会合海外参加者一覧

### ① オーストラリア

- 1) Mr. Peter McGLINN(ピーター・マックグリン)  
オーストラリア原子力科学技術機構(ANSTO) 国際関係シニアアドバイザー

### ② バングラデシュ

- 1) Prof. Dr. Shahana AFROZ(シャハナ・アフロス)  
バングラデシュ原子力委員会(BAEC) 委員長
- 2) Mr. Dilip Kumar BASAK(デリップ・クマール・バサク)  
バングラデシュ科学技術省(MOST) 審議官

### ③ 中国

- 1) Mr. LIU Hansi(リウ・ハンシ)  
中国国家原子能機構(CAEA) プロジェクトオフィサー
- 2) Dr. FAN Bingquan(ファン・ビンチエン)  
中国農業科学院(CAAS) 農業自然資源・農業区画研究所 科学的研究員

### ④ インドネシア

- 1) Dr. Anhar Riza ANTARIKSAWAN(アンハー・リザ・アンタリクサワン)  
インドネシア原子力庁(BATAN) 副長官
- 2) Dr. Darmawan DARWIS(ダルマワン・ダルウィス)  
インドネシア原子力庁(BATAN) アイソトープ利用・放射線技術センター放射線加工部  
部長

### ⑤ カザフスタン

- 1) Dr. Erlan G. BATYRBKOV(エルラン・G・バティルベコフ)  
カザフスタン国立原子力研究所(NNC) 総裁
- 2) Ms. Oxana LYAKHOVA(リャホバ・オクサナ)  
カザフスタン国立原子力研究所(NNC) 放射線安全・生態学研究所 実験室長

### ⑥ 韓国

- 1) 調整中
- 2) Mr. Honghwa JEONG(ホンファ・チョン)  
韓国原子力国際協力財団(KONICOF) 地域協力チームリーダー

⑦ マレーシア

- 1) Dr. Muhd Noor MUHD YUNUS(モハメド・ノール・モハメド・ユナス)  
マレーシア原子力庁(Nuclear Malaysia) 副長官(科学技術開発プログラム部門)
- 2) Dr. Khairuddin BIN ABDUL RAHIM(カイルディン・ビン・アブドゥル・ラヒム)  
マレーシア原子力庁農業科学技術・生物科学部 部長

⑧ モンゴル

- 1) Prof. Dr. Suren DAVAA.(シュレン・ダヴァア)  
モンゴル国立大学 原子力研究センター センター長
- 2) Mr. Chadraabal MAVAG.(.チャドラーバル・マヴァグ)  
モンゴル原子力庁(NEA) 原子力技術部 部長

⑨ フィリピン

- 1) Dr. Soledad S. CASTAÑEDA(ソレダッド・S・カステニャーダ)  
フィリピン原子力研究所(PNRI) 主任科学研究専門家
- 2) Dr. Olivia P. DAMASCO(オリビア・P・ダマスコ)  
フィリピン大学 ロスバニョス校食物育種作物研究所 研究員

⑩ タイ

- 1) Dr. Somporn CHONGKUM(ソンポーン・チョンクム)  
タイ原子力技術研究所(TINT) 所長
- 2) Dr. Wanna WIMOLWATTANAPUN(ワンナ・ウィモルワッタナプン)  
タイ原子力技術研究所(TINT) 副所長
- 3) Ms. Kanchalika DECHATES(カンチャリカ・デチャテス)  
タイ原子力技術研究所(TINT)国際部 部長

⑪ ベトナム

- 1) Dr. CAO Dinh Thanh(カオ・ディン・タン)  
ベトナム原子力研究所(VINATOM) 副所長
- 2) Dr. DANG Huy Quoc Thinh(ダン フィ クオック ティン)  
ホーチミン市がん病院 副院長

⑫ IAEA/RCA<オブザーバー>

- 1) Mr. Kun Mo CHOI(クンモ・チョ)  
国際原子力機関(IAEA)アジア原子力地域協力協定(RCA)  
RCA 地域オフィス 所長
- 2) Ms. Hyun Kyon JEON(ヒョンギョン・チョン)  
国際原子力機関(IAEA)アジア原子力地域協力協定(RCA)  
RCA 地域オフィス 計画課 課長

## 第 15 回 FNCA コーディネーター会合国内参加者一覧

### <内閣府>

- ・ 近藤 駿介 原子力委員会委員長
- ・ 鈴木 達治郎 原子力委員会委員長代理
- ・ 秋庭 悦子 原子力委員会委員
- ・ 中野 節 内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当)
- ・ 板倉 周一郎 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付  
参事官(原子力担当)
- ・ 氏原 拓 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付  
参事官(原子力担当)付参事官補佐
- ・ 貞安 基光 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付  
参事官(原子力担当)付上席政策調査員
- ・ 柳澤 慎太郎 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付  
参事官(原子力担当)付政策調査員
- ・ 河野 信子 内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付  
参事官(原子力担当)付政策調査員

### <文部科学省>

- ・ 坂本 修一 研究開発局研究開発戦略官(核融合・原子力国際協力担当)
- ・ 宮田 仁 文部科学省研究開発局核不拡散科学技術推進室 室長
- ・ 出口 夏子 文部科学省研究開発局研究開発戦略官付  
(核融合・原子力国際協力担当) 室長補佐
- ・ 葛谷 暢重 文部科学省研究開発局研究開発戦略官付  
(核融合・原子力国際協力担当) 核不拡散係長
- ・ 青木 萌 文部科学省研究開発局研究開発戦略官付  
(核融合・原子力国際協力担当) 調査員

### <コーディネーター・プロジェクトリーダー>

- ・ 町 末男 FNCA 日本コーディネーター  
(日本原子力研究開発機構 シニアアドバイザー)
- ・ 中井 弘和 静岡大学 名誉教授 元副学長
- ・ 横山 正 東京農工大学大学院 農学研究院 生物生産科学部門 教授
- ・ 玉田 正男 独立行政法人日本原子力研究開発機構 高崎量子応用研究所 所長
- ・ 辻井 博彦 独立行政法人放射線医学総合研究所 フェロー
- ・ 小森 芳廣 独立行政法人日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター  
副所長
- ・ 海老原 充 首都大学東京大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 教授
- ・ 丸尾 毅 独立行政法人日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター

- 原子力科学研究所 研究炉加速器管理部 部長
- ・ 松添 雄二 富士電機株式会社 産業インフラ事業本部 東京事業所  
機器生産センター ファインテック開発部 開発企画課 課長
- ・ 山下 清信 独立行政法人日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センター  
原子力人材育成統括アドバイザー
- ・ 千崎 雅生 独立行政法人日本原子力研究開発機構  
核不拡散・核セキュリティ総合支援センター センター長

\* 平成 26 年 3 月 3 日時点のものであり、今後変更となる場合があります。

## アジア原子力協力フォーラム (FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

### 1. 概要及び目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的发展を促進することを目指す。

### 2. 参加国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナムの全12か国（この他に IAEA がオブザーバー参加）

### 3. 経緯

平成2年から原子力委員会が主催し開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一堂に会し、情報交換及び地域協力のあり方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成11年4月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

#### <原子力政策大綱における位置付け（アジア諸国との協力部分）>

我が国が主体的・能動的に協力を行う国・地域は、地政学的にも経済的にも緊密な関係を有するアジアを中心とする。（略）これらの協力に当たっては、相手国の自主性を重んじ、パートナーシップに基づくことを基本として、例えばアジア原子力協力フォーラム（FNCA）、IAEA のアジア原子力地域協力協定（RCA）といった多国間の枠組みや、二国間及び国際機関を通じた枠組みを目的に応じて効果的に利用することが適切である。

（参考）「アジア地域原子力協力国際会議」は平成2年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献するために、日本主導で設立された。平成10年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」を各国から選任し、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を協力分野ごとに選任し、より組織的な協力活動を進めることのできる FNCA 新体制に移行した。

### 4. 枠組み

#### （1）大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

(開催実績)

| 開催日時・場所                    | 我が国代表出席者                | 主な議論のテーマ   |
|----------------------------|-------------------------|--|
| 第1回<br>平成12年11月<br>タイ      | 大島科学技術庁長官               | ・原子力利用の推進<br>・原子力安全<br>・地域原子力協力の推進                   |
| 第2回<br>平成13年11月<br>東京      | 尾身科学技術政策担当大臣            | ・持続可能な発展と原子力<br>・放射線利用分野における協力のあり方                   |
| 第3回<br>平成14年10月<br>韓国      | 細田科学技術政策担当大臣            | ・人材養成戦略<br>・持続可能発展と原子力                               |
| 第4回<br>平成15年12月<br>沖縄      | 茂木科学技術政策担当大臣            | ・放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大<br>・持続可能な発展と原子力エネルギー    |
| 第5回<br>平成16年12月<br>ベトナム    | 棚橋科学技術政策担当大臣            | ・アジアにおける原子力人材育成に関する協力<br>・FNCAの今後のあり方                |
| 第6回<br>平成17年12月<br>東京      | 松田科学技術政策担当大臣            | ・アジアにおける原子力人材育成に関する協力<br>・科学技術と原子力                   |
| 第7回<br>平成18年11月<br>マレーシア   | 平沢内閣府副大臣                | ・アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割<br>・原子力エネルギーの広報            |
| 第8回<br>平成19年12月<br>東京      | 岸田科学技術政策担当大臣            | ・原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動<br>・放射線利用を中心としたFNCA活動     |
| 第9回<br>平成20年11月<br>フィリピン   | 増原内閣府副大臣                | ・原子力発電の基盤整備のための協力<br>・放射線利用のさらなる促進のための協力             |
| 第10回<br>平成21年12月<br>東京     | 菅科学技術政策担当大臣             | ・原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力<br>・放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力 |
| 第11回<br>平成22年11月<br>中国     | 和田内閣府大臣政務官              | ・原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力<br>・放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力 |
| 第12回<br>平成23年12月<br>東京     | 細野内閣府特命担当大臣<br>中塚内閣府副大臣 | ・基盤整備(人材養成と広報)<br>・放射線・アイソトープ応用促進のための協力              |
| 第13回<br>平成24年11月<br>インドネシア | 白眞勲内閣府副大臣               | ・FNCAの役割   |
| 第14回<br>平成25年12月<br>東京     | 山本内閣府特命担当大臣             | ・FNCAプロジェクトの成果の活用<br>・核セキュリティ文化の醸成                   |

(2) コーディネーターとコーディネーター会合

自国におけるFNCAプロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から

1名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年1回日本で開催。日本のコーディネーターは町末男原子力研究開発機構フェロー。

(開催実績)

|        |            |         |         |
|--------|------------|---------|---------|
| ○第 1 回 | コーディネーター会合 | 平成12年3月 | 東京      |
| ○第 2 回 | コーディネーター会合 | 平成13年3月 | 東京      |
| ○第 3 回 | コーディネーター会合 | 平成14年3月 | 東京      |
| ○第 4 回 | コーディネーター会合 | 平成15年3月 | 沖縄      |
| ○第 5 回 | コーディネーター会合 | 平成16年3月 | 東京      |
| ○第 6 回 | コーディネーター会合 | 平成17年3月 | 東京      |
| ○第 7 回 | コーディネーター会合 | 平成18年3月 | 東京      |
| ○第 8 回 | コーディネーター会合 | 平成19年2月 | 東京      |
| ○第 9 回 | コーディネーター会合 | 平成20年3月 | 東京      |
| ○第10回  | コーディネーター会合 | 平成21年3月 | 東京      |
| ○第11回  | コーディネーター会合 | 平成22年3月 | 東京      |
| ○第12回  | コーディネーター会合 | 平成23年3月 | 福井 (中止) |
| ○第13回  | コーディネーター会合 | 平成24年3月 | 福井      |
| ○第14回  | コーディネーター会合 | 平成25年3月 | 東京      |

(3) 検討パネル

平成16年から平成18年の3か年間「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル(第1フェーズ)を開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。

その結果を受け、第2フェーズとして平成19年から平成20年の2か年間「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催し、1)原子力発電分野における人材養成、2)原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について議論を行なった。平成20年11月にマニラで開催された第9回FNCA大臣級会合では、第3フェーズとして平成21年から「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」を開催することが決定された。

(開催実績)

■第1フェーズ

「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割検討パネル」

|      |       |          |    |
|------|-------|----------|----|
| ○第1回 | パネル会合 | 平成16年10月 | 東京 |
| ○第2回 | パネル会合 | 平成18年 1月 | 東京 |
| ○第3回 | パネル会合 | 平成18年11月 | 敦賀 |

■第2フェーズ

「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

|      |       |          |    |
|------|-------|----------|----|
| ○第1回 | パネル会合 | 平成19年10月 | 東京 |
| ○第2回 | パネル会合 | 平成20年 9月 | 東京 |

### ■第3フェーズ

「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成21年 7月 東京
- 第2回 パネル会合 平成22年 7月 韓国
- 第3回 パネル会合 平成23年 7月 インドネシア
- 第4回 パネル会合 平成24年 7月 タイ
- 第5回 パネル会合 平成25年 8月 東京

#### (4) 個別プロジェクトについての協力活動

FNCAの下で、放射線利用開発、研究炉利用開発、原子力安全強化、原子力基盤強化の分野で10のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国1名のプロジェクトリーダーが任命されており、プロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動の取りまとめを実施している。プロジェクト毎に、通常年1回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、今後の協力や実施計画を策定する。

# アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

